

介護福祉学科 介護福祉士コース

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

項目	担当教員	授業科目名	単位	単位時間
※1	介護福祉士	介護の基本A	4	60
※1	介護福祉士	生活支援技術（基礎A）	2	60
※1	介護福祉士	生活支援技術（基礎B）	2	60
※1	看護師	発達と老化の理解A	2	30
※1	看護師	発達と老化の理解B	2	30
※1	看護師	認知症の理解A	2	30
※1	介護福祉士	認知症の理解B	2	30
※1	看護師	こころとからだのしくみA	4	60
※1	看護師	こころとからだのしくみB	2	30
※1	看護師	こころとからだのしくみC	2	30
※1	看護師	国試模擬	2	30
計			26	450

※1:担当教員は、施設（介護、障がい者等）で従事している者、または施設などで実務経験5年以上有している者である。

教育する科目に関して、担当教員（介護福祉士、看護師）は実務経験を十分に授業に活かし、実践的な教育を行うものとする。

科目名	介護の基本A	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	加茂野 和美	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	中央法規出版(株)最新介護福祉士養成講座3介護の基本 I 第6版	開講曜日・時限	
副教材		単位数	4単位
授業外の指示		総コマ数	30コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験	授業形態	講義
科目概要・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしきみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。 ・介護を必要とする人の尊厳ある生活を支援する介護福祉に求められる役割と機能を理解し、さまざまな場面に必要とされる介護の基礎的知識・技術をグループワークや演習を通じて習得できる内容とする。 ・介護福祉の専門性と理念・倫理を理解し、介護を必要とする人の生活を支えるしきみをしっかりと習得するとともに、専門職として態度を養うことができる。 		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
	【第1コマ目】オリエンテーション
1	
	【第2コマ目】介護福祉士とは何かをグループワークを通じて学ぶ
2	
	【第3コマ目】介護の成り立ち・専門職による「介護」が誕生した経緯をグループワークを通じて学ぶ
3	
	【第4コマ目】介護を取り巻く状況①介護需要の変化②家族機能の変化③地域社会の変化
4	
	【第5コマ目】介護を取り巻く状況①介護需要の変化②家族機能の変化③地域社会の変化
5	
	【第6コマ目】介護ニーズの複雑化と多様化
6	
	【第7コマ目】介護福祉職の多様化
7	
	【第8コマ目】介護福祉の歴史
8	
	【第9コマ目】1970年代のおもな施策(老人収容施設)
9	
	【第10コマ目】1980年代のおもな施策(社旗福祉士及び介護福祉士法の成立)
10	
	【第11コマ目】1990年代のおもな施策(自立支援、高齢化率)
11	
	【第12コマ目】2000年以降の主な施策(介護保険法)
12	
	【第13コマ目】2000年以降の主な施策(介護福祉士の業の変遷)
13	
	【第14コマ目】2000年以降の主な施策(介護福祉士の業の変遷)グループワークを通じて学ぶ
14	
	【第15コマ目】これまでの振り返り
15	
	【第16コマ目】介護福祉の基本となる理念介護福祉の理念
16	
	【第17コマ目】尊厳を支える介護を学ぶ
17	
	【第18コマ目】尊厳を支える介護グループワークを通じて学ぶ
18	
	【第19コマ目】自立を支える介護
19	
	【第20コマ目】自立を支える介護グループワークを通じて学ぶ
20	
	【第21コマ目】介護福祉士の役割と機能地域における介護福祉士の役割と機能
21	
	【第22コマ目】介護福祉士の役割と機能地域における介護福祉士の役割と機能グループワークを通じて学ぶ
22	
	【第23コマ目】施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能
23	
	【第24コマ目】施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能グループワークを通じて学ぶ
24	
	【第25コマ目】介護予防における介護福祉士の役割と機能
25	
	【第26コマ目】医療的ケアにおける介護福祉士の役割と機能
26	
	【第27コマ目】人生に最終段階の場における介護福祉士の役割と機能
27	
	【第28コマ目】災害時などの場における介護福祉士の役割と機能
28	
	【第29コマ目】これまでの振り返り
29	
	【第30コマ目】前期評価試験
30	

科目名	生活支援技術(基礎A)	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	加茂野 和美	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I	開講曜日・時限	
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	30コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	演習	授業形態	演習

科目概要・目標
 人の尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、その方の出来る力を引き出したり、見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術
 考え、安全に援助できるように技術や知識を習得する学習とする。介護を必要としている人たちが、その人らしく生きるための生活環境や生活支援の方法、またその方の自立支
 に向けた介護について考えることができる知識、技術を習得する。
 また、その方の状態、状況をしっかりと把握できる観察力やアセスメント力の初歩的な力を学び習得する。

回数	テキスト範囲・テーマ・目標	
1	【第1コマ目】	オリエンテーション いいね金沢健康体操 実習室使用の仕方 実技の際の身だしなみ(服装・整容など)
2	【第2コマ目】	生活支援の基本的考え方 生活支援と介護過程
3	【第3コマ目】	ベッドメイキング
4	【第4コマ目】	ボディメカニクス 移動動作の基礎となっている理論
5	【第5コマ目】	自立した移動 移動・移乗介助における基本的視点 移動に必要な道具
6	【第6コマ目】	起居動作 仰臥位→側臥位→起き上がり→端座位→立ち上がり
7	【第7コマ目】	車いす介助 標準型・跳ね上げ式・ティルト… 特徴と使い方
8	【第8コマ目】	車いす介助 (屋外走行) ベッド→車椅子→段差超え→エレベーター→スロープ→砂利(ガタガタ)
9	【第9コマ目】	サルコペニア フレイル ロコモティブシンドローム
10	【第10コマ目】	歩行介助 杖歩行(3動作歩行・階段昇降)
11	【第11コマ目】	自立した身支度の介助
12	【第12コマ目】	洗顔 整髪 ひげそり スキンケア お化粧 耳掃除 爪切り
13	【第13コマ目】	入浴の介助
14	【第14コマ目】	手浴・足浴の効果と演習 入浴・清潔保持のための用具
15	【第15コマ目】	自立した身支度の介助 衣服の着脱(かぶり・前開き・ズボン)
16	【第16コマ目】	自立した身支度の介助 衣服の着脱(ズボン)
17	【第17コマ目】	自立した入浴・清潔保持の介助(個浴・シャワー浴・洗髪・洗身)
18	【第18コマ目】	自立した入浴・清潔保持の介助(特殊浴・シャワー浴・洗髪・洗身)
19	【第19コマ目】	ハンドマッサージ
20	【第20コマ目】	食事のメカニズム 姿勢と咀嚼・嚥下 姿勢と道具 食事介助(飲水・デザート)
21	【第21コマ目】	実習で経験した生活支援技術の実際(疑問・上達したいこと・実際の状況の考察)
22	【第22コマ目】	グループワーク・発表
23	【第23コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術①
24	【第24コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術①(演習)
25	【第25コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術②
26	【第26コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術②(演習)
27	【第27コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術③
28	【第28コマ目】	事例から学ぶ実践的生活支援技術③(演習)
29	【第29コマ目】	期末試験
30	【第30コマ目】	期末試験

科目名	生活支援技術(基礎B)	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	加茂野 和美	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ	開講曜日・時限	
副教材	プリント	単位数	1単位
授業外の指示	必要時	総コマ数	30コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	演習	授業形態	演習
科目概要・目標	人の尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、その方のできる力を引き出し、見守ることも含めたその時々に応じた適切な介護技術を考え、安全に援助できるように技術や知識を習得する学習とする。介護を必要としている人たちが、その人らしく生きるための生活環境や生活支援の方法、またその方の自立支援に向けた介護について考えることができる知識、技術を習得する。また、その方の状態、状況をしっかり把握できる観察力やアセスメント力の初歩的な力を学び習得する		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】 ベッドから車椅子への移乗
2	【第2コマ目】 車椅子からベッドへの移乗
3	【第3コマ目】 食事の介助 食卓で行う食事の介助
4	【第4コマ目】 食事の介助 ベッド上で行う食事の介助
5	【第5コマ目】 自立に向けた排泄の介助
6	【第6コマ目】 排泄の異常への対応(頻尿・尿失禁・便秘・下痢・便失禁など)
7	【第7コマ目】 生活を支える福祉用具を学ぶ(福祉情報プラザルキーナ)
8	【第8コマ目】 生活を支える福祉用具を学ぶ(福祉情報プラザルキーナ)
9	【第9コマ目】 安楽な姿勢と体位を保持する介助 褥瘡予防
10	【第10コマ目】 水平移動 寝返りの介助
11	【第11コマ目】 排泄の介助 車椅子利用者のトイレでの介助
12	【第12コマ目】 排泄の介助 ポータブルトイレの介助
13	【第13コマ目】 排泄の介助 オムツ交換の介助
14	【第14コマ目】 排泄の介助 陰部洗浄・清拭の介助
15	【第15コマ目】 日本の食文化 伝統行事を学ぶ
16	【第16コマ目】 調理 (七草がゆ・鏡開き)
17	【第17コマ目】 自立に向けた家事の介護
18	【第18コマ目】 調理の介護(配膳・食材の切り方・調理法・食品の保存・食中毒・衛生管理)
19	【第19コマ目】 そうじ・ごみ捨ての介助
20	【第20コマ目】 洗濯の介助 洗濯の意義・洗濯マーク・乾燥の仕方・シミ取り・漂白剤の種類と注意)
21	【第21コマ目】 裁縫・衣類の補修 (物を大切に作る気持ちと扱う大切さ・もったいないの感覚)
22	【第22コマ目】 衣類修復の方法 (ボタンの付け方・スナップの付け方・まつり縫い)
23	【第23コマ目】 ミシンのかけ方①
24	【第24コマ目】 ミシンのかけ方②
25	【第25コマ目】 買い物介助 (意義と支援の方法・施設の場合・在宅の場合)
26	【第26コマ目】 家庭経営・家計の管理
27	【第27コマ目】 事例から考える実践的介護①
28	【第28コマ目】 事例から考える実践的介護②
29	【第29コマ目】 事例から考える実践的介護③
30	【第30コマ目】 修了評価テスト

科目名	発達と老化の理解A	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解A(中央法規出版)	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について、理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する ・介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生についての知識を習得できる ①成長・発達の考え方、成長・発達の原則や影響する要因など基礎的な知識を学ぶ ②ライフサイクル各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題および特徴的な疾病について学ぶ ・成長・発達の観点から老化を理解し、老化にともなう心理や身体機能の変化およびその特徴に関する基礎的な知識を習得できる ①老年期の特徴と発達課題について学ぶ ②老化にともなう身体的・心理的・社会的な変化と、それらがどのように生活に影響を与えるかについて学ぶ		
回数	テキスト範囲・テーマ・目標		
1	【第1コマ目】 オリエンテーション 授業の進め方 評価方法など 人間の成長と発達の基礎的知識		
2	【第2コマ目】 人間の成長と発達の基礎的知識 成長・発達の原則、法則		
3	【第3コマ目】 発達に影響する要因		
4	【第4コマ目】 人間の発達段階と発達課題 ～発達理論～		
5	【第5コマ目】 人間の発達段階と発達課題 ～身体的機能の成長と発達～		
6	【第6コマ目】 人間の発達段階と発達課題 ～心理的機能の発達～		
7	【第7コマ目】 人間の発達段階と発達課題 ～社会的機能の発達～		
8	【第8コマ目】 老年期の特徴と発達課題 ～老年期の定義～		
9	【第9コマ目】 老年期の特徴と発達課題 ～老化とは～		
10	【第10コマ目】 老年期の発達課題		
11	【第11コマ目】 老年期をめぐる今日的課題		
12	【第12コマ目】 老化にともなう身体的な変化と生活への影響		
13	【第13コマ目】 老化にともなう心理的な変化と生活への影響		
14	【第14コマ目】 老化にともなう社会的な変化と生活への影響		
15	【第15コマ目】 期末試験		

科目名	発達と老化の理解B	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解	開講曜日・時限	
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	<p>人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多くみられる疾病と生活への影響、健康の維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を学習する ・高齢者の症状や疾患の特徴について理解する ・高齢者に特有な症候について理解する 		
回数	テキスト範囲・テーマ・目標		
1	【第1コマ目】健康長寿に向けての健康 高齢者の症状・疾患の特徴		
2	【第2コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～骨格系・筋系～		
3	【第3コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～脳・神経系～		
5	【第5コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～循環器系～		
6	【第6コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～呼吸器系～		
7	【第7コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～消化器系～		
4	【第4コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～皮膚・感覚器系～		
8	【第8コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～腎・泌尿器系～		
9	【第9コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～内分泌・代謝系～		
10	【第10コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～歯・口腔疾患～		
11	【第11コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～悪性新生物(がん)～		
12	【第12コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～感染症～		
13	【第13コマ目】高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点 ～精神疾患～		
14	【第14コマ目】保健医療職との連携		
15	【第15コマ目】期末試験		

科目名	認知症の理解A	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座13 認知症の理解(中央法規出版)	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	認知症の本質や認知症の人の心理状態、認知症特有の症状やケア、認知症を取り巻く社会環境などを正しく理解し、認知症の人に対する適切な全人的ケアを提供できるようになる知識を養う		
回数	テキスト範囲・テーマ・目標		
1	【第1コマ目】 授業オリエンテーション(科目の概要、授業の進め方) "認知症"という言葉からのイメージ		
2	【第2コマ目】 認知症の基礎的理解～認知症とは何か～ 認知症の定義と診断基準 認知症初期に生じる生活の支障 認知症の症状の全体像		
3	【第3コマ目】 認知症の基礎的理解 認知症の症状の全体像 認知症の特徴		
4	【第4コマ目】 認知症の基礎的理解～脳のしくみ～ 脳の構造・機能 脳の構造と症状の関係		
5	【第5コマ目】 認知症の基礎的理解～認知症の人の心理～		
6	【第6コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～中核症状の理解～		
7	【第7コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～生活障害の理解～		
8	【第8コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～BPSD(行動・心理症状)の理解		
9	【第9コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の診断と重症度～		
10	【第10コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の原因疾患と症状・生活障害(アルツハイマー型認知症・血管性認知症)～		
11	【第11コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の原因疾患と症状・生活障害(レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症・治療可能な認知症・若年性認知症)～		
12	【第12コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の治療薬～		
13	【第13コマ目】 認知症の症状・診断・治療・予防～認知症の予防～		
14	【第14コマ目】 前期授業振り返り・まとめ		
15	【第15コマ目】 学期末試験		

科目名	認知症の理解B	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	加茂野和美	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新介護福祉士養成講座 認知症の理解	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	認知症によるこころの変化や日常生活への影響について理解し、個々のあった的確なケアが提供できるための知識、さらには地域で生活する認知症の方々とその家族を24時間サポートできるための知識、具体的な取り組み方法を修得するための講義とする。		
回数	テキスト範囲・テーマ・目標		
1	【第1コマ目】 オリエンテーション:授業の進め方、授業内容など 障害をかかえて生きることへの支援 認知症を取り巻く状況 これまで～今～これから		
2	【第2コマ目】 障害をかかえて生きることへの支援 認知症ケアの理念と視点		
3	【第3コマ目】 障害をかかえて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの		
4	【第4コマ目】 認知症ケアの実際 パーソン・センタード・ケア 認知症の人の理解と認知症の人の特性をふまえたアセスメントツール①		
5	【第5コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人の理解と認知症の人の特性をふまえたアセスメントツール②		
6	【第6コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人とのコミュニケーション		
7	【第7コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人へのケア①		
8	【第8コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人へのケア②		
9	【第9コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人へのさまざまなアプローチ		
10	【第10コマ目】 認知症ケアの実際 認知症の人の終末期医療と介護		
11	【第11コマ目】 認知症ケアの実際 環境づくり		
12	【第12コマ目】 介護者支援 家族への支援		
13	【第13コマ目】 介護者支援 介護福祉職の支援		
14	【第14コマ目】 認知症の人の地域生活支援 制度、サービス、機関、地域づくり 多職種連携と協働		
15	【第15コマ目】 学期末試験		

科目名	こころとからだのしくみA	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新・介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ(中央法規出版)	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	4単位
授業外の指示		総コマ数	30コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義

科目概要・目標	介護実践の根拠となる、人間の心理や人体の構造・機能および介護サービスの提供における安全への留意点などについて学習する ・解剖学、生理学、運動学、心理学等をもとに、人が生活するうえでこころとからだはどのようにはたらくのかを示し、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる知識を学ぶ ・人体の構造・機能とあわせて疾病の発生のメカニズムを学ぶことにより、「予防の視点」を身につけることができる		
---------	---	--	--

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】 授業オリエンテーション:授業の進め方、評価方法など 科目「こころとからだのしくみ」で学ぶこと
2	【第2コマ目】 人間の欲求:基本的欲求 社会的欲求 自己実現とは
3	【第3コマ目】 自己実現と尊厳
4	【第4コマ目】 こころのしくみの基礎「こころ」とは何か
5	【第5コマ目】 脳のしくみ
6	【第6コマ目】 認知のしくみ
7	【第7コマ目】 学習・記憶・思考のしくみ
8	【第8コマ目】 感情・情動・意欲・動機づけのしくみ
9	【第9コマ目】 適応(機制)のしくみ
10	【第10コマ目】 からだのしくみ 細胞・遺伝
11	【第11コマ目】 からだのしくみ 身体各部の名称
12	【第12コマ目】 からだのしくみ 脳・神経①
13	【第13コマ目】 からだのしくみ 脳・神経②
14	【第14コマ目】 からだのしくみ 感覚器
15	【第15コマ目】 中間試験
16	【第16コマ目】 からだのしくみ 呼吸器系①
17	【第17コマ目】 からだのしくみ 呼吸器系②
18	【第18コマ目】 からだのしくみ 循環器系①
19	【第19コマ目】 からだのしくみ 循環器系②
20	【第20コマ目】 からだのしくみ 消化器系①
21	【第21コマ目】 からだのしくみ 消化器系②
22	【第22コマ目】 からだのしくみ 泌尿器系
23	【第23コマ目】 からだのしくみ 骨・関節・筋肉①
24	【第24コマ目】 からだのしくみ 骨・関節・筋肉②
25	【第25コマ目】 からだのしくみ
26	【第26コマ目】 神経系
27	【第27コマ目】 からだのしくみ 血液・体液・リンパ
28	【第28コマ目】 生命の維持と恒常性のしくみ
29	【第29コマ目】 介護福祉職に必要な薬の知識
30	【第30コマ目】 学期末試験

科目名	こころとからだのしくみB	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・1年
主教材	最新介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	相互に影響し合うこころとからだの両面から、利用者の状態を理解するための根拠となる知識について学ぶ。利用者の潜在能力を引き出し、尊厳の尊重と自立を支援するための適切な介護方法を導き出す。		
回数	テキスト範囲・テーマ・目標		
1	【第1コマ目】 オリエンテーション 授業のすすめ方 評価方法など		
2	【第2コマ目】 移動に関連したこころとからだのしくみ 基本的な姿勢・ボディメカニクス		
3	【第3コマ目】 移動に関連したこころとからだのしくみ 移動に関連したこころのしくみ		
4	【第4コマ目】 移動に関連したこころとからだのしくみ 心身機能の低下が移動に及ぼす影響		
5	【第5コマ目】 移動に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応		
6	【第6コマ目】 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 身じたくに関連したこころとからだのしくみ		
7	【第7コマ目】 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響		
8	【第8コマ目】 身じたくに関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応		
9	【第9コマ目】 食事に関連したこころとからだのしくみ 食事に関連したこころとからだのしくみ		
10	【第10コマ目】 食事に関連したこころとからだのしくみ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響		
11	【第11コマ目】 食事に関連したこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応		
12	【第12コマ目】 入浴・清潔保持に関するこころとからだのしくみ 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみ		
13	【第13コマ目】 入浴・清潔保持に関するこころとからだのしくみ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響		
14	【第14コマ目】 入浴・清潔保持に関するこころとからだのしくみ 変化の気づきと対応		
15	【第15コマ目】 学期末試験		

科目名	こころとからだのしくみC	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・2年
主教材	最新・介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ(中央法規出版)	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	筆記試験(60分)	授業形態	講義
科目概要・目標	生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする <ul style="list-style-type: none"> ・身体の構造と機能がわかる ・基礎的な心理を知る ・日常生活に即した介護場面においてこころとからだのしくみを根拠とした支援を考えることができる 		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】 オリエンテーション 授業のすすめ方 評価方法など
2	【第2コマ目】 排泄に関連したこころとからだのしくみ なぜ排泄をするのか 正常な排泄行為
3	【第3コマ目】 排泄に関連したこころとからだのしくみ
4	【第4コマ目】 心身機能の低下が排泄に及ぼす影響
5	【第5コマ目】 変化の気づきと対応
6	【第6コマ目】 排泄での医療職との連携のポイント
7	【第7コマ目】 休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ なぜ睡眠をとるのか 休息と睡眠
8	【第8コマ目】 睡眠に関連したこころとからだのしくみ
9	【第9コマ目】 心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響
10	【第10コマ目】 変化に気づくためのポイント
11	【第11コマ目】 人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ 死のとらえ方
12	【第12コマ目】 「死」に対する心の理解 「死」に対するこころの変化
13	【第13コマ目】 終末期から危篤状態、死後のからだの理解
14	【第14コマ目】 終末期における医療職との連携
15	【第15コマ目】 期末試験

科目名	国試模擬	開講年度・学期	2023年度 通年
担当教員	関戸 かおり	対象学科・学年	介護福祉学科・2年
主教材	全国統一模擬試験(中央法規出版)、学力評価試験(介養協)	開講曜日・時限	時間割による
副教材		単位数	2単位
授業外の指示		総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	校内模試及び全国統一模擬試験、学力評価試験で評価	授業形態	講義
科目概要・目標	介護福祉士国家試験模擬問題、国家試験過去問、模擬試験の実施、解説により必要知識の習得を行う。 介護福祉士国家試験試験問題において、80点以上の得点を獲得する。		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】第1回校内模試(春休み課題試験)
2	【第2コマ目】第1回校内模試(春休み課題試験)
3	【第3コマ目】校内模試解答・解説
4	【第4コマ目】第2回校内模試
5	【第5コマ目】第2回校内模試
6	【第6コマ目】校内模試解答・解説
7	【第7コマ目】第3回校内模試
8	【第8コマ目】第3回校内模試
9	【第9コマ目】校内模試解答・解説
10	【第10コマ目】2022年度第1回全国統一模擬試験
11	【第11コマ目】2022年度第1回全国統一模擬試験
12	【第12コマ目】2022年度第1回全国統一模擬試験
13	【第13コマ目】第4回校内模試
14	【第14コマ目】第4回校内模試
15	【第15コマ目】校内模試解答・解説

国際ビジネス学科

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

項目	担当教員	授業科目名	単位	単位時間
※1	ホテル（結婚式場・経営等）の業務経験を持つ者	ホテル概論	4	60
※1	ホテル（結婚式場・経営等）の業務経験を持つ者	飲料サービス	1	30
※1	ホテル（結婚式場・経営等）の業務経験を持つ者	宿泊サービス	1	30
※1	ホテル（結婚式場・経営等）の業務経験を持つ者	衛生管理	2	30
計			8	150

※1:担当教員は、企業で、科目内容に関連した業務経験がある者である。

教育する科目に関して、担当教員が実務経験を十分に授業に活かし、実践的な教育を行うものとする。

科目名	ホテル概論	開講年度・学期	2023年度 前期
担当教員	立石 昌広	対象学科・学年	国際ビジネス学科1年
主教材	日本ホテルスクール教材	開講曜日・時限	毎週水2時限目・木1限目
副教材	オリジナルテキスト	単位数	4単位
授業外の指示	海外のホテル・日本国内のホテルチェーンを調べる	総コマ数	30コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	オリジナルテキストの範囲	授業形態	講義

科目概要・目標 宿泊業(ホテル・旅館・宿泊施設等)の歴史・種類・現代までの流れを把握し、施設内の関連性をわかりやすくする。特定技能「宿泊」の合格を目指す

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
	【第1コマ目】ホテルの発祥と近代の歩み1
1	
	【第2コマ目】ホテルの発祥と近代の歩み2
2	
	【第3コマ目】ホテル発祥と近代の歩み3
3	
	【第4コマ目】シティホテル・ビジネスホテルなどホテルの種類を学ぶ
4	
	【第5コマ目】外資系ホテルの特徴と種類・インターナショナルホテルグループを知ろう
5	
	【第6コマ目】日本のホテルの発祥と歴史・近代の歩み(シティホテルの発祥)
6	
	【第7コマ目】外資系のホテル(自分の国のホテル)について知ろう 3つ考えてみよう 前編
7	
	【第8コマ目】外資系のホテル(自分の国のホテル)について知ろう 3つ考えてみよう 後編
8	
	【第9コマ目】ビジネスホテルの特徴 金沢市内(石川県内)のホテルを3つあげよう
9	
	【第10コマ目】ホテルの運用方法とその種類について
10	
	【第11コマ目】シティホテルの売上比率とその特徴について
11	
	【第12コマ目】ホテルの組織とその仕組みについて
12	
	【第13コマ目】ホテル事業のB to B/B to Cについて
13	
	【第14コマ目】各国・日本の行事とイベント宿泊・飲食業の関係
14	
	【第15コマ目】おもてなしと一期一会 試験前復習
15	
	【第16コマ目】中間試験
16	
	【第17コマ目】試験振り返り
17	
	【第18コマ目】特定技能「宿泊」過去問題 解説
18	
	【第19コマ目】ホテルの組織とその役割 管理部門とその役割
19	
	【第20コマ目】ホテルの組織とその役割 営業部門とその役割
20	
	【第21コマ目】リッツカールトンホテルのスタンダードとは 紳士・淑女の意味と従業員の関係 一度は夢見てみたいサービスとは
21	
	【第22コマ目】宿泊部門の基本業務
22	
	【第23コマ目】ホテル・旅館のルームタイプとその特徴
23	
	【第24コマ目】ホテルのPR、プロモーションVTRをみて その感じ方
24	
	【第25コマ目】ホテル宿泊の集客とエージェンツについて(リアルエージェンツとOTAの違い) ホテルスタッフの心得4か条
25	
	【第26コマ目】接客7大用語と発声・姿勢・そのタイミングについて
26	
	【第27コマ目】期末テストの復習
27	
	【第28コマ目】ホテル見学と実施訓練
28	
	【第29コマ目】ホテル見学と実施訓練
29	
	【第30コマ目】期末テスト振り返りと上期授業評価
30	

科目名	飲料サービス	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	杉中 宣元	対象学科・学年	国際ビジネス学科1年
主教材	日本ホテル教育センター教材	開講曜日・時限	後期毎週水曜日1限目
副教材	オリジナルテキスト	単位数	1単位
授業外の指示	海外のホテル・日本国内のホテルの種類を調べる	総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	オリジナルテキストの範囲内	授業形態	演習
科目概要・目標	料理・飲食を通じて食文化や歴史・製造方法・種類・サービス方法・接客技術を学びホテル・レストランで即戦力になる人員育成を行う		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】料飲店の位置づけ・基礎知識を学ぶ
2	【第2コマ目】トレーの扱い方・お皿の持ち方・サービス方法
3	【第3コマ目】日本料理の概要(歴史・製造過程・種類)世界・日本の三大珍味について
4	【第4コマ目】フランス料理の概要(歴史・製造過程・種類)
5	【第5コマ目】テーブルマナー・プロトコルについて
6	【第6コマ目】ワイン(white・red・rose)についての概要(歴史・製造過程・種類)
7	【第7コマ目】sparklingwine・champagneについて(種類・製造過程・種類)
8	【第8コマ目】蒸留酒について(Gin・vodka・tequila)混成酒について(liqueurの種類・製造過程・種類)
9	【第9コマ目】醸造酒・ビールについて～カクテルの基礎知識(種類・製造法)
10	【第10コマ目】whiskey・brandyについての基礎知識(歴史・製造過程・種類)
11	【第11コマ目】日本酒の基礎知識(歴史・製造過程・種類)焼酎の種類・製造過程・種類
12	【第12コマ目】日本の行事・節句・それらに関連する料飲について
13	【第13コマ目】日本のweddingと料飲の紐づけ・費用の算出・スケジューリングについて
14	【第14コマ目】後期期末テスト
15	【第15コマ目】期末テストの振り返りと後期締め

科目名	宿泊サービス	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	立石 昌広	対象学科・学年	国際ビジネス学科1年
主教材	日本ホテル教育センター教材	開講曜日・時限	毎週金1限目
副教材	オリジナルテキスト	単位数	1単位
授業外の指示	石川県内のホテル・旅館	総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	オリジナル選択問題と小論文	授業形態	演習
科目概要・目標	宿泊業の基本となるフロント業務と旅行業と関りを学ぶ		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】宿泊部門の組織との業務分担について
2	【第2コマ目】夏季課題「ホテル見学」発表会 400文字以上
3	【第3コマ目】ホテル業界用語について
4	【第4コマ目】宿泊部門の電話対応について
5	【第5コマ目】クレーム対応とその実態について
6	【第6コマ目】フロントカウンター業務とハウスキーピング業務について
7	【第7コマ目】アルバイトを活かした面接シートの作成についてと発表
8	【第8コマ目】接客サービス締め「サービスとおもてなし」
9	【第9コマ目】ホテル用語の小テスト
10	【第10コマ目】旅行業界と仕事内容
11	【第11コマ目】国内旅行
12	【第12コマ目】国内旅行2
13	【第13コマ目】海外旅行
14	【第14コマ目】期末テスト
15	【第15コマ目】期末テストと小テストの振り返り

科目名	衛生管理	開講年度・学期	2023年度 後期
担当教員	立石 昌広	対象学科・学年	国際ビジネス学科2年
主教材	衛生管理テキスト「外食技能測定試験」	開講曜日・時限	後期毎週水曜日1限目
副教材	外食業技能測定試験「予測問題集」	単位数	2単位
授業外の指示	日本国内の飲食店の衛生管理について調べる	総コマ数	15コマ
評価方法・割合	出席点(20%)、課題点(20%)、期末試験(60%)	履修形態	必修
試験方法	オリジナルテキストの範囲内	授業形態	講義
科目概要・目標	料理・飲食を通じて衛生管理・製造方法を学びホテル・レストラン・食品製造業で即戦力になる人員育成を行う		

回数	テキスト範囲・テーマ・目標
1	【第1コマ目】基本的な衛生管理の知識 <食中毒に関する基礎知識>
2	【第2コマ目】基本的な衛生管理の知識 <食中毒予防3原則>
3	【第3コマ目】基本的な衛生管理の知識 <食中毒を引き起こす代表的なウイルス>
4	【第4コマ目】一般的な衛生管理の知識 <原材料の受入確認>
5	【第5コマ目】一般的な衛生管理の知識 <冷蔵・冷凍庫の温度確認><<2次交差汚染の防止>>
6	【第6コマ目】一般的な衛生管理の知識 <調理器具などの洗浄・消毒・殺菌><<調理用具の取り扱いと名称>>
7	【第7コマ目】一般的な衛生管理の知識 <トイレの洗浄・消毒><<従業員の健康管理・衛生的な作業技の着用など>><<清掃管理及び廃棄処理について>>
8	【第8コマ目】衛生的な手洗いの実施・体験(県衛生管理セミナー)
9	【第9コマ目】HACCPの考えを取り入れた衛生管理の知識
10	【第10コマ目】重要管理のポイント グループ1「加熱しないもの」グループ2「加熱するもの」グループ3「加熱と零曲をくりかえすもの」管理方法
11	【第11コマ目】その他重要な管理ポイント・材料の取り扱い方・調理方法など
12	【第12コマ目】食品表示についての理解・実例に基づいた理解
13	【第13コマ目】試験前振り返り
14	【第14コマ目】期末試験
15	【第15コマ目】試験振り返り